
2013 年度 第 1 回 音環境運営委員会 議事録

記録：宮島

A. 日時 2013 年 5 月 31 日（金）17 時 00 分～19 時 15 分

B. 場所 建築学会会議室

C. 出席者 岡野利行（主査），穴井 謙，稲留康一，井上勝夫，岩本 毅，古賀貴士，佐久間哲哉，佐藤 洋，杉江 聡，田端 淳，中澤真司，永松英夫，平松友孝，宮島 徹（幹事），安田洋介（幹事）

欠席者 坂本慎一，佐藤史明，濱田幸雄，平光厚雄，（敬称略）

D. 提出資料

2013 年度第 1 回音環境運営委員会議事次第

No. 1-0 2012 年度第 4 回音環境運営委員会議事録（案）

No. 1-1 2013 年度第 1 回環境工学本委員会議題

No. 1-2 音環境運営委員会 委員名簿

No. 1-3 2013 年度環境工学委員会 各委員会予算配分表

No. 1-4 委員会資料の PDF 化と事前配信について

No. 1-5 外部査読報告/集合住宅の遮音性能基準（案）

No. 1-6 外部査読報告/集合住宅の遮音設計指針（案）

E. 議事記録

1. 前回議事録の確認（資料 No. 1-0）

・以下を修正し承認された。

P2 11 行 -0.11%→11%，-0.02%→2%， P3 4 行 していただきたい→していきたい

P5 14 行 技法堂→技報堂

2. 環境工学本委員会の報告（資料 No. 1-1）

2.1 報告事項

(1) 本委員会主査・幹事について

・主査；田辺先生（早稲田），幹事：羽山先生（北大），村上先生（芝浦工大），中野先生（東海大）。

関連する委員：横山先生（東工大：環境振動運営委），高橋先生（京大：近畿支部）

(2) 学術推進委員会（4/24）報告

・第 52 回竹中育英会建築研究助成金の応募状況（3 月 29 日締切）が紹介された。

・12 年度鹿島学術振興財団研究助成援助の対象研究 8 件が決まり，環境工学からは 2 件採択された。

・14 年度の大会は神戸大学で 9 月初～中旬に開催されることが決定した。15 年度は関東の予定。

・調査研究委員会主催のシンポジウムでは、予算および決算において事務局の経費相当として、収入の 15%の間接経費を計上するように指示があった。

・2012 年度の環境工学委員会全体の予算消化率は 93%であった。研究部門では、収入（出版物，論文集，委託研究）と支出との差額に課税されること，また，予算未消化は計画通り事業が進んでいないとみなされる可能性があることから，予算は計画通り消化してほしいとの要望があった。

- ・予算配分があり、環境工学は前年比-11%であった。講習会収入が少ないことが理由の一つである。講習会が多い構造系は-2%に留まっている。
- ・旅費支給時の証憑提出についてお願いがあった。監査法人からの指摘による。
- ・委員会資料のPDF化・事前配布について理事会での決定（1月）が確認された。不都合や使い勝手の要望がある場合には、早い時期であれば事務局で受け付けるとのこと。
- ・13年度大会について
 - ・発表題数は過去最高となる7,201件であった。梗概の取下は8件（環境工学4件）。
 - ・取下げのルール、大会投稿前の共著者逝去の場合の取り扱いルールが確認された。
 - ・音環境関係のOS（集合住宅における遮音性能の現状把握と今後の展望）は、4件が採択された。
 - ・投稿者の年代別内訳が紹介され、20歳代がほぼ半数であった。
 - ・英文梗概での投稿者に、全分野を統合して実施する国際セッションでの発表希望アンケートを取ったが、希望27人、希望せず54人であった。国際セッションの実施について意見がある委員は岡野主査まで。英語での発表は認められており、現状にどのような問題があるのか要検討、等の意見があった。
 - ・大会における非公式行事（委員会など）は6月末までに事務局に書式により申込みのこと。
 - ・環境工学懇親会を8月31日に開催する。参加費を抑えているので、多く参加頂きたい。
- ・論文賞は環境工学からは2件受賞（佐土原先生、中村先生）、大会で記念講演が行われる。
- ・学生・若手会員の繋ぎ止めの方策として学術推進委員会のアクションプランが出されているので、意見があれば出してほしい。意見がある委員は岡野主査まで。
- ・大会のあり方検討タスクフォースから報告書の骨子案が出された。国立大学の会場費徴収などにより大会収支が悪化している。骨子案に意見がある委員は岡野主査まで。
- ・「調査研究関係専門委員会運営に関する共通規程」「環境工学委員会運営規程」「委員会等の運営に関する申し合わせ」を確認して頂きたい。
- ・環境工学メールマガジンは、催し物の告知は開催前1ヶ月以内に1回限りとなっているが、開催1か月以上前および複数回を可能、に緩和したいと考えている。意見がある委員は岡野主査まで。

2.2 審議事項

(1) 各種委員会委員推薦

- ・能力開発支援事業委員会には、幹事の羽山先生を推薦した。
- ・技術報告集委員会委員には、安田先生が新任で就任した。

(2) 第27回環境工学連合講演会（14年4月開催）

- ・建築学会が主催学会となる。招待講演をお願いする場合もあるので、ご協力をお願いしたい。

(3) 建築学会環境規準(AIJES)の改定・作成について

- ・今年度は、5年目の改定対象となるAIJESはない。
- ・AIJES総則に書かれているように、様々な環境規準が作成できるので、積極的に企画してほしい。
- ・来年度、企画刊行運営委傘下で、AIJESを作成する場合は6月までに佐土原先生へ申し出てほしい。

(4) シンポジウム実施報告・実施計画

- ・第72回音シンポジウム「スピーチプライバシーの評価と制御～音声情報漏洩防止の観点から～」、第73回音シンポジウム「集合住宅の遮音性能規準と遮音設計指針」に関する実施報告が承認された。

- ・ハンズオンセミナー「はじめての音響数値シミュレーション」の実施計画は、承認された。

2.3 その他

(1) 予算の執行状況

- ・年度が始まったばかりで、ほとんど執行されていない。音環境運営委員会全体で融通し合って、消化率を上げていきたいと考えている。

(2) 学生・若手の繋ぎ止め施策

- ・環境工学全体では、20歳代の投稿は691件、音環境は40件（全体96件）。
- ・卒業時の退会防止のため、対象者の20%程度を表彰することを考えている。各運営委員会で、表彰自体の賛否、選考方法、対象者の寡多、今年度実施可能か等について6月末までに意見を出してほしい、との依頼があった。意見がある委員は岡野主査まで。

3. 審議事項

3.1 企画広報WGが作成した研究動向DBの取り扱いについて

- ・企画広報WGで作成したDBについて、公開の際にはパスワード認証によって、学会員に閉じたシステムとするように音環境運営委員会で要望された。しかし、建築学会のWEBシステム上困難であるため、認証無しで誰でもアクセスできる形で公開したいとの要望が企画広報WG中澤主査から提起された。審議の結果、DB自体は、認証無しの公開が承認された。なお、別途契約が必要なCiNiiにリンクが張られている建築学会大会梗概については、建築学会の内部DBへのリンク張り直しを含め検討するように要望が出された。

4. 報告事項

4.1 会議のペーパーレス化について（資料No.1-4）

- ・理事会の決定に従い、当運営委員会でも次回以降ペーパーレスとすることが確認された。資料を提出する場合は、開催前々日15時までにオンラインストレージにアップロードする。間に合わない場合には、会議当日に、提出者が人数分のコピーを準備することを申し合わせた。

4.2 「集合住宅遮音性能規準」「集合住宅遮音設計指針」（資料No.1-5,1-6）

- ・資料に基づき、外部査読結果が報告された。査読者への説明を行うことと、了解を得る必要性について意見が出された。

5. 各小委員会・WGの活動報告

5.1 固体音小委員会（稲留主査）

- ・5/17に開催。今年度の活動について議論し、引続き床衝撃音について取組むことを決めた。次回6/26。
- ・鉄道固体音測定法検討WGは4/19に開催。今年度の活動計画について議論した。

5.2 集合住宅の遮音性能評価水準検討小委員会（岩本主査）

- ・3/27に昨年度最終の委員会を開催し、OSに投稿された4編の梗概を審議し採択した。
- ・5/15に本年度第1回を開催し今年度～来年度の活動について議論した。収集した室内環境音の再分析、福島県内の集合住宅での測定の実施を検討していくこととした。

5.3 建築音響測定法小委員会（杉江主査）

- ・5/23に開催、新しい委員を3名迎えた。インテンシティによる各種測定法や窓サッシの遮音性能測定法

の検討, 実騒音による外周壁遮音測定法等に取り組んでいく方向で, さらに議論を進めていくこととした.

5.4 室内音響小委員会 (佐藤主査: メール報告)

- ・小委員会: 6/26, 設計事例集企画 WG: 6/13 に開催予定, スピーチプライバシーWG: 6/26 に状況把握.
- ・インパルス応答計測 WG は, 検討の成果を ICA のサテライトシンポジウム ISRA で発表.

5.5 音響数値解析小委員会 (坂本主査: 安田委員代理)

- ・昨年度の最終委員会を 3/11 に開催しハンズオンセミナーの内容について議論を行った. また, ベンチマーク問題の追加, 境界条件の DB 化について議論を行った.

5.6 音環境規準検討小委員会 (古賀主査)

- ・「音環境規準」「設計指針」のパブコメ締切を受け, 5/8 に開催した. 衝撃源をバングからボールに変更したことに対する継続性に関する意見が多く寄せられたが, 先見性という観点から, このままの方針を進めることを確認した. FDS 作成後の外部査読は橘先生にお願いすることとしている.
- ・作成フローが 2012 年度に改訂されているが, 2 つの刊行小委を計画・立ち上げた時点では 2008 年度版であった. 出版までこのフローに従うことを確認した (事務局にも確認済み).
- ・「学校施設の音環境保全基準・設計指針」の改定に向けての作業については, 集合住宅の目処がついてから行うこととする.

5.7 企画・広報WG (中澤主査)

- ・WG を 4/22 に開催. 研究動向 DB は, 大会で 2 編発表する. DB の公開方法に関する審議は前掲. (仮称) 住まい方マニュアルについては, 事例のリストアップなどの作業を進めている. 次回 6/26 開催予定.

6. 他学会・研究会の予定

- ・建築音響研究会
6/21 小林理研, 7/16 キャンパスプラザ京都, 8 月長野, 10 月東京
- ・騒音振動研究会
6/28 小林理研, 7/25 関西大学, 8/19 九大芸工

7. その他

- ・音響学会和文誌に「短報」というカテゴリを創る方向で検討中である.

8. 次回以降の予定

- ・9 月 19 日 (木), 11 月 28 日 (木), 2 月 21 日 (金)

以上